

2010年10月17日 東京新聞

# BOOKナビ

サイエンス

研究機構 (IPMU) の初代機構長村山 亨「宇宙は何でできているのか―素粒子物理学で解く宇宙の謎」(幻冬舎新書・八四〇円) は、宇宙の姿に素粒子物理学で迫る。

宇宙という私たちの世界を理解するには、素粒子という一番小さな粒子の性質を知ることが重要だ。しかし素粒子物理学という分野はなかなか理解、想像がしにくい。しかし著者はこの分野の若手スターであると同時に、その語り口に魅せられたファンも多い。本書ではウイットに富んだ村山節が各所にみられる。私たちが観測できる宇宙の物質を全部足しても、全体の中にあるはずの重さの4%にしかない。残りの96%を最新の素粒子物理学はどのように説明するのか。答えを知りたい方はぜひ手に取ってほしい。

素粒子に迫る

横山 広美

東京大数物連携宇宙

(東京大大学院准教授)